



絆できらめく ひと・まち・自然 未来へつなぐ 共生の郷

みなさんと議会を結ぶ情報誌

議会だより

第61号

令和3年11月5日発行

さ よ う

晩秋の輝く景色
地域の誇り



もくじ

- ・ 第104回定例会 審議内容 2
- ・ 決算特別委員会審査 4
- ・ 一般質問 7人の議員が斬り込む 14
- ・ 議会の動き（委員会、組合議会報告） 22
- ・ 議会の予定、編集後記 裏表紙

健全な財政運営!

9月定例会

第104回佐用町議会
定例会は、9月2日から
28日までの27日間の会期
で開催し、令和2年度各
会計決算案14件は、決算
特別委員会を設置し2日
間にわたり審査し、すべ
て原案のとおり認定しま
した。

一般会計歳入

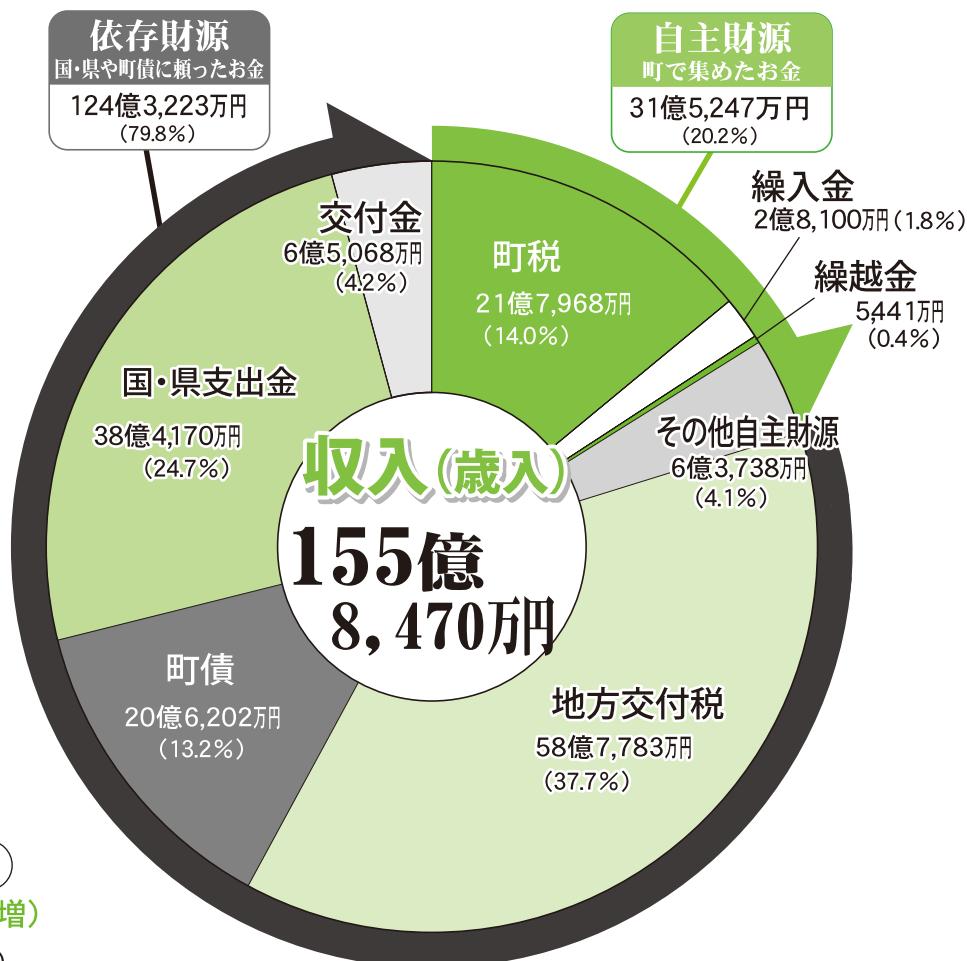
(借金)と基金(貯金)の状況

令和3年3月末人口：16,143人



**基金
(貯金)**
107億2,513万円

町民1人あたり
66万円
(前年より1万円増)
(万円未満切り捨て)



1、町民負担の公平の確
保と円滑な財政運営を
償還が有利な起債の借
り入れや繰り上げ償還の

実施など、町財政の後年
度負担の軽減は順調に推
移している。町税等の收
納率の向上等に努めてい
ることを認める。

令和2年に発生したタ
クシー券の不正請求事件
は、再発防止と、外出支
援サービス事業の維持確
保に努力願つ。

代表監査委員
中井幹夫

**「佐用町の魅力・元気づくり」を
目指し更なる努力を**

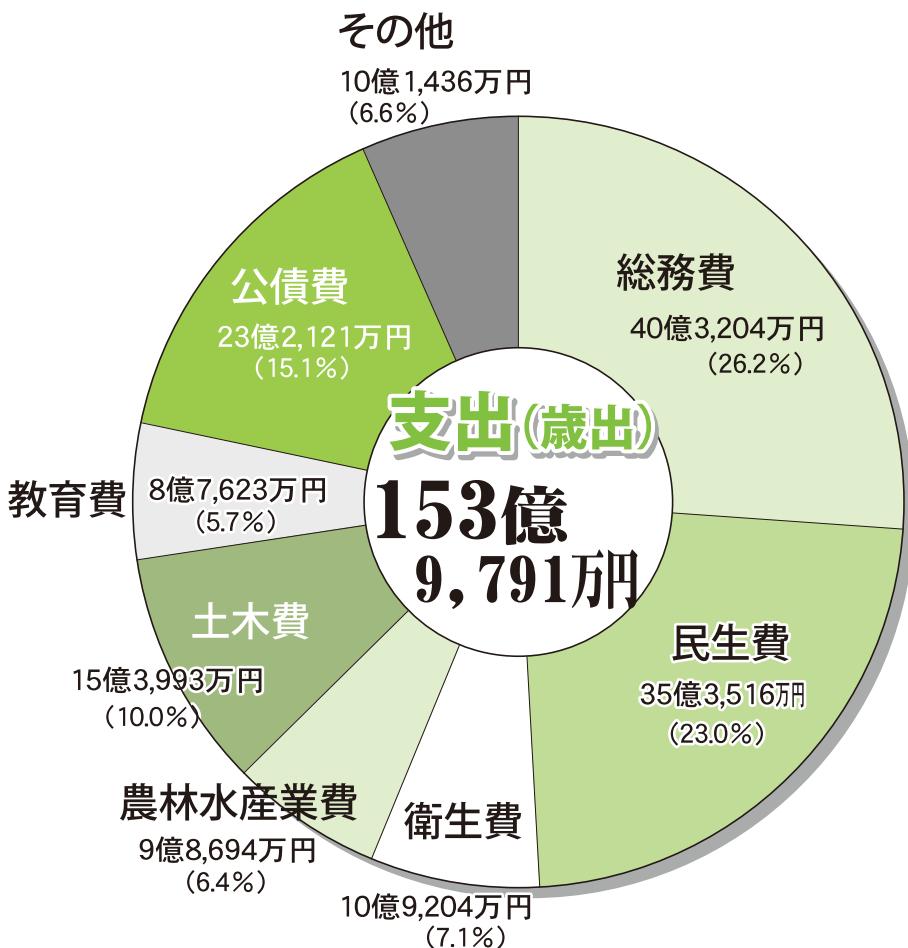
決算審査報告（要旨）



令和2年度の一般会計決算額は、歳入
155億8,470万3千円、歳出15
3億9,791万7千円で、翌年度へ繰
り越すべき財源3,258万円を差し引
いた実質収支は1億5,420万6千円
の黒字となつた。
新型コロナウイルス感染症対策等のため、令和元年度と比べ、歳入で26億3,000万円、歳出で25億5,800万円
増加している。

令和2年度
決算認定

コロナにも負けず



議員による発議1件は否決し、条例の制定、条例の一部改正、財産の取得など11件、令和3年度補正予算案11件、諮問1件、同意2件、選挙などは、すべて原案のとおり可決、承認しました。一般質問は7名の議員が登壇し、活発な議論が展開されました。

一般会計歳出

●町民一人あたりの町債
(特別会計を含む)

町債
(借金)
203億8,870万円
町民1人あたり
126万円
(前年と同じ)



- 2、安心して子どもを産み育てられる社会環境の整備を
- 教育環境では、一人一台のタブレット端末整備や特別教室の空調設備の設置など改善がされた。子育て支援では、高校生等に係る医療費の一部助成に加え、従来からの取り組みの継続を願う。
- 3、町の歴史的遺産を後世へ継承
- 利根城跡応急対策の実施、平福の古民家・旧酒造場の利活用事業の展開など、歴史的資源の保存と活用の取り組みを評価。町内の歴史文化資産を活用し、地域の活性化や地域経済の振興に繋がるよう期待する。
- 4、長期的な視点で施設の維持管理・活用を
- 下水道施設の統合など社会インフラの改善や長寿命化に取り組む。養護老人ホーム佐用朝霧園の移転など大規模な建設事業も効果的に実施。三日月支所の複合施設化は効果的であると認める。他の施設も、役割や建設年度等を踏まえ、類似施設の集約・統合も必要である。
- 5、柔軟で効率的な組織運営を
- 職員の意識改革や資質向上に取り組み、行政手続きのオンライン化やオンライン相談の導入など行政組織のデジタル化が必要。また、情報弱者への対応も願う。
- 6、上下水道施設の維持管理
- 施設・設備の老朽化で更新費用の著しい増大が見込まれる。中・長期的な経営計画や施設更新計画の策定、必要な投資計画を含む適正な料金算定等の取り組みを願う。

ここが聞きたい

決算特別委員会 質疑

令和2年度の一般会計並びに特別会計等14会計について予算執行状況と事業実施効果など、町当局に説明を求めました。

委員長 西岡 正
副委員長 呉玉 雅善

全議員による決算審査を
9月6日・7日に開催



▲決算特別委員会 正副委員長

一般会計

歳入

問 満納繰越分の徴収状況とコロナの影響は。

答 満納繰越額は、平成29年度は1億4千万円だったが、令和2年度は8千円と、確実に減らしている。徴収率は県下で2位。コロナの影響はな

いわけではないが、徐々に出てくるものと考えている。徴収率は県下で2位。コロナの影響はな

い。固定資産税の償却資産、前年度比で1,80

0万円増えている。その要因は。

大きな要因は、太陽光発電施設の償却資産の増加と考える。

歳出

総務費

問 定住対策費1,295万円。移住定住の実績は。

答 町外から7世帯11人が移住され、町内転居では2世帯12人が定住。また、若者定住応援金事業では、新築応援金は21件、町内定住就職奨励金は37件の方に交付した。

問 移住定住された方の年齢分布は。

答 5年間経過した中で70名弱が利用・相談され、80%近くが20代から50代。



▲危険空き家(出典:消防防災科学センター)

率等、予算執行上の制約が非常に多い。他の市町村同様、佐用町でも、空き家再生等推進事業、県の老朽危険空き家除却支援事業補助金を組み合わせて、事業を行っている。

民生費

問 老朽空き家除却支援事業補助金。行政代執行により除却する場合に、国の予算付けを受けての対応は。

答 国の空き家対策総合支援事業は、制約や補助を広報していきたい。

衛生費

率等、予算執行上の制約が非常に多い。他の市町村同様、佐用町でも、空き家再生等推進事業、県の老朽危険空き家除却支援事業補助金を組み合わせて、事業を行っている。

問 燃えるゴミ、燃えないゴミの収集回数、指定ゴミ袋の料金、他市町との差について状況は。

答 答弁の内容は、下段表のとおり。

にしありまクリーンセンター 市町別ごみ収集状況

	佐用町	上郡町	たつの市	宍粟市
燃えるゴミ	収集回数 週1回 ゴミ袋の料金 40円/1枚	週2回 35円/1枚	週2回 10円/1枚	週1回 25円/1枚
燃えないゴミ及び埋め立てゴミ	収集回数 月一回程度	月一回程度	月一回程度	月一回程度
	ゴミ袋の料金 40円/1枚	70円/1枚	無料	20円/1枚
粗大ゴミ	収集回数 年4回	月1回	月1回	月2回
	処理料金 80円/1個	80円/1個	無料	20円/1個

※答弁を基に広報委員会で作成



▲ゴミ収集車による週1回の収集



▲もち大豆展示ほ場での講習会

問 他市町との差について町民から申し入れはないのか。

答 燃えるじみの週2回収集については、従前から聞いている。検討はしているが、週2回にするのであれば、町全域で2回にしなければならないので、収集の体制や経費の問題もあり、週1回の実施としている。

農林水産業費

問 もち大豆の補助金を令和2年度に100円から130円に単価を上げ、生産者を支援したが、作付面積が減った要因は。

答 ビジネスプランコンテスト、昨年の最優秀賞はすでに起業されたものになったが、最終審査に残ったものの中にも検討に値するプランがあった。どういったふうに活用していくのか。

問 最優秀賞のグラミン力はすでに営業を開始され、順調に伸びている。決勝大会に残った中で、シカ肉を利用したペツトフードについては、本町の新規創業補助金ではなく、さらに有利な補

商工費

問 ビジネスプランコンテスト、昨年の最優秀賞はすでに起業されたものになったが、最終審査に残ったものの中にも検討に値するプランがあった。どういったふうに活用していくのか。

答 助金メニューを使い、既に事業を始めている。竹パワダードに竹パワダードに動き出している。二次審査に残ったプランの中でも、洋菓子の製造販売は近々、オープン予定。オンラインによる学習塾も運用を開始された。

問 河川費の中で、国としては災害に対して、自治体にも補助するということで、浚渫費の新設が

土木費

問 消防団員減少の現状認識と対策は。

答 令和元年が884人、昨年度が862人。前年比98%。減少傾向が続いている。原因は過疎化と

問 他市町との差について町民から申し入れはないのか。

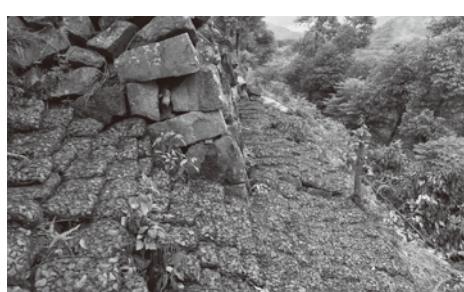
答 高収益の作物に大型農家が転換したのが面積減の原因。生産者支援として機械補助等を行い、3年度は微増した。G-Iの登録を受けた「佐用もち大豆」を転作作物の一つの核として育てていきたい。



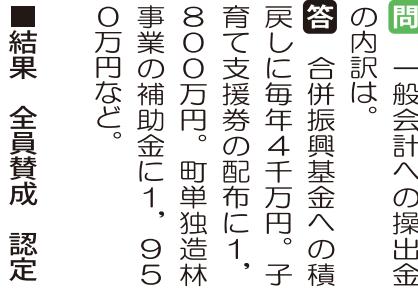
▲最終審査まで残った応募者のみなさん

問 この事業の対象が町管理の普通河川ということで、2年度で浚渫の計画がなかつたので実施には至っていない。

答 令和3年度は、予定箇所があるので計画書の作成をしている。



▲本郷川の普通河川土砂除去作業



▲利神城馬場の石垣土のう積

消防費

問 利神城跡、石垣の補強工事進捗は。

答 令和2年から4年度の3カ年の防災工事で、進捗率は、全体工事費の48%。

教育費

問 利神城跡、石垣の補強工事進捗は。

答 令和2年から4年度の3カ年の防災工事で、進捗率は、全体工事費の48%。

結果 賛成多数 認定

特別会計

メガソーラー事業 収入特別会計

問 一般会計への繰出金の内訳は。

答 合併振興基金への積戻しに毎年4千万円。子育て支援券の配布に1,800万円。町単独造林事業の補助金に1,950万円など。

問 少子高齢化と認識している。支固制の廃止、分団の統合など組織の再編などに加えて、車両の編成などで団員が減少しても活動できるように取り組みを進めている。退団者には、消防協力員に参加を依頼している。

答 臨時財政対策債は償還しても利息分も含めて交付税算入されるので、一括償還すれば、その分の利息分は実際に払う分より安くなるので有利だと考えている。

●国民健康保険特別会計

問 子育て支援の観点から、子どもの均等割課税は無くすべき。

答 国民健康保険法と地方税法が改正され、令和4年4月から未就学児については、所得制限を設けずに5割減額される。

■結果 賛成多数 認定

●後期高齢者医療特別会計

問 令和2年度の年金支給率は実質0.3%減少している。重税感がある。

答 後期高齢者の医療費を全世代で支える仕組み。高齢者には重税感があると思うが、社会全体の中での負担といふことで、理解してもらいたい。

■結果 賛成多数 認定

問 介護保険特別会計

問 施設入所の低所得者に対し、本人収入が120万円を超える場合、食費・住居費の負担が増える。影響は。

答 令和3年から施設入所者の食費について、日額の自己負担が上限650円だったものが1,360円に増えている。令和3年8月の制度改正のため、実態は把握できていない。

■結果 賛成多数 認定

私は賛成です！

私は反対です！

賛成

コロナ禍における健全な財政運営

小林 裕和

と現状を鑑み、将来を見据えた堅実かつ安定した財政運営に評価する。

賛成

安定した財政運営がなされている

千種 和英

と現状を鑑み、将来を見据えた堅実かつ安定した財政運営に評価する。

一般会計

地域創生総合戦略等を踏まえた施策の実施、新型コロナ感染症対応の方創生臨時交付金の活用により、適正かつ効果的に執行され、安定した財政運営がなされている。

保険税の収納率の向上と県、国からの補助金の確保、一般財源からの繰入れ、法定外にも約1,650万円を繰入れ安定した財政運営が図られている。一方、低所得者へ

公債費の繰り上げ償還はやめ、26億5,200万円の財政調整基金とともに、今の住民が求めている事業への財源としてべきであった。地域振興では、協議会により、交通、健康・福祉、農林業の振興の課題解決も関連して行える。

地域・産業の振興、教育・文化の発展と安心して暮らせる福祉に不十分な決算である。

反対

今の住民への事業に

金谷 英志

反対

国保税の軽減を

平岡きぬゑ

ごとの地域内経済循環を図ることが大切であった。この観点から地域づくりを進めることにより、交通、健康・福祉、農林業の振興の課題解決も関連して行える。

地域・産業の振興、教育・文化の発展と安心して暮らせる福祉に不十分な決算である。

賛成

高齢者が安心して医療を受けるために必要な制度!

加古原瑞樹

歳入では、一般会計か
ら繰り入れを行いながら
実質収支を黒字で結んで
いる。また歳出では、県
と高齢者の分担ルールの
もど、全世代で支える仕
組みである。

後期高齢者医療制度は、
高齢化が進み医療費が
年々増えていく中、若者
と高齢者の分担ルールの
もど、全世代で支える仕
組みである。

歳入では、一般会計か
ら繰り入れを行いながら
実質収支を黒字で結んで
いる。また歳出では、県
と高齢者の分担ルールの
もど、全世代で支える仕
組みである。

後期高齢者医療制度は、
高齢化が進み医療費が
年々増えていく中、若者
と高齢者の分担ルールの
もど、全世代で支える仕
組みである。

賛成

制度安定・継続のため一般会計より負担されている

金澤 孝良

歳入では、一般会計から
繰り入れを行っており、
高齢者医療制度の維持
に努力しております。

年ごとに高齢化率が上
昇し、介護が必要となる
人が増える中、少ない費
用で介護サービスを受け
るための重要な制度であ
る。この制度を安定に継
続していくための保険料
減制度もさらに充実し、
全体に配慮している。

は、国、県、市町村で半
額負担している。一般会
計から4億5千万円余り
負担しているし、被保険
者保険料は所得に応じた
徴収をしている。

後期高齢者医療

介護保険

75歳以上の高齢者の
保険料は、改定のたびに
6回連続で引き上げられ、
今期は、県広域連合議会
で均等割額を2,516円も引
き上げている。消費税増税
の負担も増している。

ない。制度の根幹である
高齢者が必要な医療を受
ける機会の確保が脅かさ
れている。国の制度の中
で運営されている会計で
あり、国の制度施策を批
判して反対する。

反対

保険料連続
引き上げ

金谷 英志

え、年金生活の高
齢者の経済環境は
厳しさを増してい
る中、保険料の引
き上げは認められ

国は、新型コロナ危機
のもとで今年8月から特
別養護老人ホームなどに
入所する低所得者の食
費・居住費補助制度を改
悪し、食費は月約2万2
千円値上げした。ショ一

9月に改悪後初
の利用料請求が届き、入
所者や家族に驚きの声が
広がっている。高齢者や
現役世代のために一般会
計からの繰り入れで介護
保険料の軽減と利用料減
免をすべきだった。

反対

保険料・利用
料を軽減せよ

平岡きぬゑ

トステイの食費は
年収80万円以下の
人をはじめ大半
が負担増になった。

令和2年度 決算認定採決状況

○賛成 ×反対 ※議長(石堂基)は同数以外採決に加わりません

議員名	金澤 孝良	児玉 雅善	加古原 瑞樹	千種 和英	小林 裕和	廣利 一志	岡本 義次	金谷 英志	山本 幹雄	岡本 安夫	西岡 正	平岡 きぬゑ	石堂 基	採決結果
議案名														
一般会計	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×
国民健康保険	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	認定
後期高齢者医療	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	認定
介護保険	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	認定
メガソーラー事業収入、朝霧園、 簡易水道事業、特定環境保全公共 下水道事業、生活排水処理事業、 西はりま天文台公園、笹ヶ丘荘、 宅地造成事業、石井財産区	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
水道事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

補正で緊急対応!

議案



▲味わいの里三日月・(株)元気工房さよう本社

設立は令和2年7月で、実質的には経営統合して6ヶ月。新型コロナウィルス感染症の影響もあり、積極的な事業展開は図れなかつたが、6カ月決算では、売上額は1億189万5,376円となり、経常利益は191万6,463円の赤字だが、純利益は、南光ひまわり館の棚卸資産等の受贈益増により、303万124円の黒字となつた。売上額は統合前の3社の合計額より約1割減額となつた。統合後の各直売所の機能調整を行いながら社員の配置転換等を行い、加工品の生産効率の向上や人件費の削減に取り組んだ。

(株)元気工房さようの事業報告

佐用町商工業振興基本条例の制定
町、商工業者、商工団体の役割を明確にし、商工業対策のより一層の推進を図るため、商工業者

■結果 全員賛成 可決
佐用町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

■結果 全員賛成 可決
佐用町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

佐用町商工業振興基本条例の制定
付託（詳細は11ページ）

■結果 全員賛成 可決
佐用町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

の事業の持続発展や、商工業施策などを規定した。

する条例の一部を改正する条例

報告

公用車の接触事故について

三日月地域において公

共下水管が老朽化によ

り破損し、水田へ下水が

流入したことにより米を

収穫することが出来なく

なった。相手方に米の収

穫収入相当及び保全管理

の費用として7万2,700円を支払う。

公用車の接触事故について

三日月地域において公

共下水管が老朽化によ

り破損し、水田へ下水が

流入したことにより米を

収穫することが出来なく

なった。相手方に米の収

穫収入相当及び保全管理

の費用として7万2,700円を支払う。

問題 ドライブレコーダーの設置は。他の公用車の設置状況は。

答 事故を起こした車には設置していない。公用車は現在202台で、搭載車が48台。主にスクールバス、さよさよサービスなど、お客様を乗せる車には付けている。

問題 ドライブレコーダーの設置は。他の公用車の設置状況は。

答 事故を起こした車には設置していない。公用車は現在202台で、搭載車が48台。主にスクールバス、さよさよサービスなど、お客様を乗せる車には付けている。

問題 河川への流出はないか。河川には流出しているのか。

答 長期間流出したが、河川への流出はない。

問題 今後このようないかない。

答 今回の庄送管は塩ビ管だったのですが、鋼管で修繕した。現在は庄送管に塩ビ管を使わずに施工している。

問題 規購入の際は設置して購入している。

答 徐々に設置するが、新規購入の際は設置して購入している。

下水管が老朽化によ

り破損

コロナ対策に



▲整備予定の旧佐用保育園跡地

■結果 全員賛成 可決

問 請負費3千万円の内容は、
（佐用小学校西側）の整備。
既設の水路の整備。2カ年で実施し、4年度はグラウンドゴルフの利用だけなく遊具も設置。



令和3年度佐用町一般会計補正予算案（第4号）

令和3年度 一般会計補正予算(第4号) 歳出			(単位:千円)
予算項目(款)	補 正 額	主たる要因	
議会費	55	人件費	
総務費	△31,533	人件費の補正と、防災行政無線の機器修繕料、備品費など	
民生費	45,393	児童公園整備事業における工事請負金、特別会計への繰出金など	
衛生費	△7,771	人件費と特別会計への繰出金	
農林水産業費	7,201	ため池浚渫工事の工事請負金、緊急防災林整備事業補助金など	
商工費	△3,298	人件費と特別会計への繰出金など	
土木費	70,693	人件費と道路長寿命化事業における工事請負金など	
消防費	△2,315	人件費など	
教育費	8,383	スピカホールの自動火災報知機の修繕料、給食センターの調理機器更新に伴う備品費など	
災害復旧費	11,500	令和3年7月豪雨災害によって発生した農地、農業用施設の復旧工事における工事請負金など	
公債費	229,208	歳入補正における普通交付税の増額、前年度繰越金などを原資として地方債の繰り上げ償還	

令和3年度 特別会計補正予算 歳出			(単位:千円)
特 別 会 計	補 正 額	主たる要因	
国民健康保険	14,355	人件費と前年度の保険給付費等交付金の実績に基づく返還金	
後期高齢者医療	△2,514	人件費と後期高齢者医療広域連合給付金過年度分の保険料負担金	
介護保険	21,216	人件費と保険給付費及び地域支援事業費の過年度分清算による国庫負担金・県負担金などの返還金	
簡易水道	△2,660	人件費と機器の交換部品購入による原材料費、施設清掃委託料	
特定環境保全公共下水道	2,071	三日月浄化センターの汚泥脱水機更新に伴う搬出費用等による浄化センター汚泥処理委託料。薬品保存用冷蔵庫の購入に係る備品費	
生活排水処理	30	人件費	
西はりま天文台公園	135	人件費とグループ用ロッジ運営費の修繕料	
水道事業	493	人件費	

承認

令和3年度佐用町一般会計
補正予算(第3号)専決

64歳以下の町民を対象としたワクチン接種に係る経費を歳入歳出予算の総額に1,490万1千円増額計上。

■結果 全員賛成 承認

報告

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について

基本計画に基づき実施。第2期計画の評価を踏まえ新たに基本方針を3つに集約し、13の基本的方向と35の施策について評価を実施した。

■結果 全員賛成 可決

千葉タクボウシド

問 6社見積もり入札といふことだが、予定価格は。また、不要になった車両はどうに処分するのか。
答 予定価格は2,200万円。納車が来年2月なので、その後公売で処分する。

■契約相手
(有)福井サービス(家内)
み

■購入金額
2,120万円(税込)

町マイクロバスの購入

財産の取得

令和3年度佐用町一般会計補正予算案(第5号)
交付金事業として補正するもの。

千葉タクボウシド

令和3年度 一般会計補正予算(第5号) 歳出		(単位:千円)
予算項目	補正額	主たる要因
新型コロナウィルス感染症緊急経済対策	△40,269	各地域福祉センターの感染防止対策空調機器更新工事の減額など
	900	買い物困難地域等への移動販売運営経費等補助金の増額
	21,000	R2年の年間収入額が前年比で1割以上減少している中小事業者に対し10万円を給付
	5,560	鉄道、路線バスに対する運行支援の増額とタクシー事業者を対象に追加
	9,000	元気工房さようの営業継続支援として支援金を給付
	1,050	上月総合交流促進施設対策として空気清浄機能付きエアコンを導入
	328	三日月陶芸センター対策として空気清浄機能付きエアコンを導入
	1,139	町民プールの更衣室エアコンの更新

また、智頭急行(株)分が、予測以上に赤字額が膨らんでいる。

その他議案

兵庫県市町交通災害共済組合の解散

加入人員の減少など厳しい運営状況のため、令和4年3月31日をもつて解散。共済給付請求期間も同日。

解散に伴う財産処分

同組合解散後の財産処分として設立基金を分配。佐用町は、3,748万円の分配される。

同意

佐用町公平委員会委員の選任に同意しました。

前川 福美氏（小赤松）

■任期は4年
令和7年12月1日まで

佐用町教育委員会教育長の任命に同意しました。

浅野 博之氏（上月）

■任期は3年
令和6年9月30日まで

諮詢問

人権擁護委員の推薦は適任としました。

野村 正明氏（末廣）

■任期は3年
令和6年12月31日まで

選挙

選挙管理委員を選任しました。

今西 憲一氏（佐用）
小林 隆俊氏（早瀬）
長尾 富夫氏（東徳久）
前澤 敏美氏（大畑）

■任期は4年
令和7年12月1日まで

産業厚生常任委員会

委員長 廣利 一志

議案第89号

「佐用町商工業振興基本条例」

策定を審議

◇条例制定概要◇

国的小規模企業振興基本法が平成26年に制定され、地方公共団体（市町村）に小規模企業振興に関する施策を策定・実施する責務が明記されたことに伴い、西播磨でも本町以外は、昨年までに条例制定を終えた状況です。

本町では、プレミアム商品券事業、利子補給、新規創業支援などの事業を行い、積極的に商工業振興に取り組んできただこと踏まえ、本町において

的な地域経済の構築を目指す。

既に、国の支援制度がある中で、今回の条例制定は、今後の支援・補助金制度の採択条件になるのか。

答 今回の条例制定はそうではない。

■結果 全員賛成 可決



※お詫びと訂正

議会だよりさよう

第60号

6ページ5段目・6段目において、4箇所、文言に誤りがありますので、訂正し、お詫びいたします。

答 この条例で、町、商工業者、商工団体及び町民のそれぞれの役割を明らかにすることだ。

さらには、それの参画と協働を進め、持続

【正】訪問看護

←
【誤】訪問介護

11

佐用町過疎 地域持続的 発展計画の策定

討論

過疎地域自立促進特別措置法が本年3月に期限を迎え、新たに過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が施行された。過疎計画を策定した自治体は交付税措置を受けることができた。過疎対策事業債の発行や、固定資産税の課税免除に伴う減収補てん措置などの財源措置がなされる。今回移住・定住や、人材の育成、地域の情報化の項目を新たに設け、分野ごとに現況と対策を記載。また、基本目標として人口、合計特殊出生率、社会減の緩和を新たに設けている。

過疎計画は前期5年、後期5年で策定するため、今回の計画は令和3年4月から令和8年3月までと前期5カ年計画となっている。

可決

否決

発議第3号 核兵器禁止条約に署名・ 批准を求める意見書(案)

反対

「核兵器の禁止は核保有国で行うべき」

山本 幹雄 議員

現保有国が大量の核兵器を破壊、放棄したという事実があれば我が国も核兵器禁止条約の署名推進に賛成もするが、現実にその様なことはない。我が国のように非核三原則を遵守している国が核廃絶を叫んでも意味がない。

核兵器を保有する隣国へ行き核兵器反対の抗議活動を行う方が有意義である。核兵器・通常の兵器ともに国際法ではどうすることも出来ない。アメリカの核の傘下で安全を享受している我が国で批准の署名には反対。

策定概要

過疎地域自立促進特別措置法が本年3月に期限を迎えるにあたり、新たに過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が施行された。

反対

核保有国と非保有国が連携すべき

小林 裕和 議員

日本は唯一の被爆国として保有・非保有国間の仲介役としての役割を果たしていくことが重要。

政府は核拡散防止条約運用検討会議に向けた提言を取りまとめることを決定し各国と協調した取り組みを進めている。

核兵器禁止条約はいまだ保有国などが参加しない中での採択であり、保有国と非保有国が共に連携して解決する必要がある。政府の国益にかなう今後の核兵器問題に対する取り組みを見極めるもので反対とする。

賛成

被爆者の声受け止めて

金谷 英志 議員

昨年12月に提出した意見書と違うのは、核兵器禁止条約が今年1月に発効し国際的に核兵器が違法とされたことである。

日米安保条約のもとでも同条約に参加することは可能である。

今年の広島平和記念式典の後で、広島県原爆被害者団体協議会の佐久間邦彦理事長は、「被爆国の日本が批准すれば、世界に大きな影響を与え、条約に参加する国が増える」と発言。この被爆者の声を真摯に受け止め賛成する。

賛成

過疎債活用の指針が示されている

小林 裕和 議員

地域の自立に向けて、過疎地域における持続可能な地域社会の形成及び地域資源を活用した地域活力の更なる向上の実現を目指し、各分野に於いての目指す方向・指針が示されている。

政策及び具体的事業を推進する上で、過疎対策事業債などの財政上の特別措置を受けるための重要な計画で、具体的な事項で本計画に沿わないことがあれば、計画変更も可能だ。持続的発展の実現を目指す本計画に賛成する。

反対

「佐用町過疎地域持続的発展計画」(案)は修正すべき

廣利 一志 議員

今回の(案)は、目標も時期の明示もないでの修正を求める反対する。

利神城跡の応急対策工事は3ヵ年計画で、完工後の一般公開についても明示すべき。

ひきこもり対策については、ワーキングチームの立ち上げを明言されているので、来年度以降の目標、時期を明示すべき。

国連のSDGs(持続的開発目標)については、触れられていないので追加修正すべきだ。

議案 採決状況		○賛成	×反対	※議長(石堂基)は同数以外採決に加わりません										採決結果
議案名	議員	金澤 孝良	児玉 雅善	加古原瑞樹	千種 和英	小林 裕和	廣利 一志	岡本 義次	金谷 英志	山本 幹雄	岡本 安夫	西岡 正	平岡きぬゑ	石堂 基
佐用町過疎地域持続的発展計画の策定		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	— 可決

答 様々な事業を幅広に捉えて掲載をして過疎債を活用できるよう考へている。
問 ひきこもり対策は、将来を担う子どもたちの教育と子育て環境の充実について、次年度以降について目的、時期を明示すべきでは。

答 議論がかみ合っていない。この計画の目的、位置づけは、財源を確保するといつことで、年度、事業の内容を具体的に特定すればするほど、該当する事業し
か財源が認められない。

答 過疎債という有利な地方債の発行がこの計画を作ることで認められる。
問 同じく有利な合併特例債の発行可能残額が少なくなつてあり、本町には必要不可欠な計画である。様々な事業を幅広に捉えて掲載をして過疎債を活用できるよう考へている。

答 ひきこもり対策は、将来を担う子どもたちの教育と子育て環境の充実について、次年度以降について目的、時期を明示すべきでは。

問 ひきこもり対策は、将来を担う子どもたちの教育と子育て環境の充実について、次年度以降について目的、時期を明示すべきでは。

答 議論がかみ合っていない。この計画の目的、位置づけは、財源を確保するといつことで、年度、事業の内容を具体的に特定すればするほど、該当する事業し
か財源が認められない。

答 計画は、目標があつて期間があるべきだ。期限を決めて取り組まないといけないので。
問 チェックポイント
計画は、目標があつて期間があるべきだ。期限を決めて取り組まないといけないので。
答 使用すると、威嚇の禁止も盛り込まれ、核抑止力の考え方を明確に否定する事につながるものです。

問 意見書概要

答 核兵器を全面的に違法化する「核兵器禁止条約」は、国連で採択されている。核兵器の使用や開発、実験、製造、取得、保有、貯蔵、移転など幅広く禁止、核を使用するとの威嚇の禁止も盛り込まれ、核抑止力の考え方を明確に否定する事につながるものです。

意見書概要

発議 採決状況

発議 採決状況		○賛成	×反対	※議長(石堂基)は同数以外採決に加わりません										採決結果
発議名	議員	金澤 孝良	児玉 雅善	加古原瑞樹	千種 和英	小林 裕和	廣利 一志	岡本 義次	金谷 英志	山本 幹雄	岡本 安夫	西岡 正	平岡きぬゑ	石堂 基
核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書(案)		×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	— 否決



9月16・17日、7人の議員が町政をただしました。

● 児玉雅善 議員	15
① タクシー運賃助成事業不正請求、調停事項に実効性の確保は	
● 岡本義次 議員	16
① 目安箱設置について	
② 地球温暖化について	
● 小林裕和 議員	17
① 観光施策の推進は、どうすべきか	
● 廣利一志 議員	18
① 「過疎地域持続的発展計画」で目指すものは	
● 金谷英志 議員	19
① 県農林ビジョンにどう取り組む	
● 平岡きぬゑ 議員	20
① 新型コロナウイルス感染症対策を問う	
● 千種和英 議員	21
① 佐用まなび舎農園の経営改善3カ年計画、初年度を終えての成果は	
② 県立佐用高校の地域協働による魅力化に取組めないか	

7人の議員が斬りこむ 町政のことが聞きたい

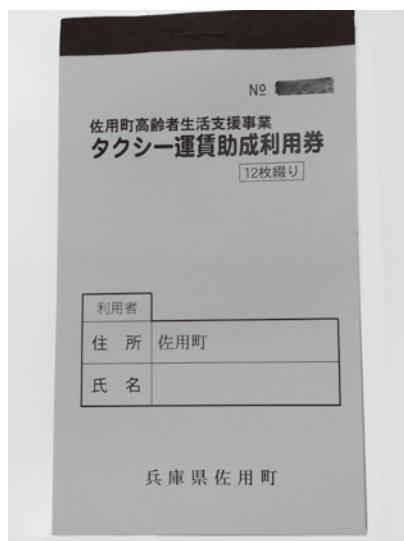
※記事および写真は質問をした議員から提出されたものです。質問・答弁の全文は後日会議録としてホームページに掲載しますのでご覧ください。なお、掲載順は毎回くじ引きで決めています。

タクシー券不正、調停の実効性は

町長—シェアが14%減少している



こだままさよし
児玉 雅善 議員



▲高齢者生活支援事業のタクシー運賃助成利用券

問 中尾タクシーグループによるタクシー券不正問題は調停が成立したが、その実効性が危惧される。

調停事項の第一に「全市民に陳謝する」とあるがどのような形で陳謝されたのか。

町長 調停事項に合意したことで市民に謝罪したことになる。

問 賠償金の25万円は、不正金額の一部であり安すぎるのでないか。

町長 25万円という額は町の調査ど、中尾正俊氏が自ら申告した金額から算出した金額で、不正金額に近い金額であると判断している。

問 上月タクシーと平福タクシーが7月18日に廃業したことを神戸運輸監理部の委員が報告した。8月12日に㈱中尾電化センターの経理担当者から電話で上月タクシーと平福タクシーの廃業の届けを陸運局に提出し、7月半ばに廃業が決まったと報告があった。

平福タクシーと上月タクシーは廃業であり、中

問 上月タクシーと平福タクシーは廃業し、(株)中尾電化センターに統合したと聞いたが、廃業・統合したのは何月何日で町が把握したのはいつか。

町長 8月2日に開かれた町地域公共交通会議の中で、上月タクシーと平福タクシーが7月18日に廃業したことを神戸運輸監理部の委員が報告した。

問 上月タクシーへ行政処分は7月13日に役場で通告する予定だったが、中尾氏が欠席されたので7月19日に内容証明郵便で通告した。

問 上月タクシーに対し1年間、運賃助成事業を委託しないことが処分の柱だった。廃業した以上、処分の効力が全く無くなってしまうのではないか。

町長 その通りで、今後は契約の都度、陸運局に届け出た車両、運転手の情報、車検証、乗務員証などを提出させ、より厳密な契約にしていきたい。

問 助成金事業のシェアが3社で元年は49%あつたものが8月度は35%になっている。処分の効果と思う。

町長 その通りで、今後は契約の都度、陸運局に届け出た車両、運転手の情報、車検証、乗務員証などを提出させ、より厳密な契約にしていきたい。

目安箱設置はしないのか

町長——メールやホームページで対応している

問 各支所、図書館、笹ヶ丘荘に目安箱を設置し、町民の皆様から色々な提言や意見を聞いたり、多くのヒントやいい案が出て、実施すると町内が良くなると思うがどうか。

町長 メールやホームページで頂いたご意見には返答し、笹ヶ丘荘もお寄せから意見等聞けるようになっている。

問 自治会長から道路、橋梁改良や河川堆積土砂除去、急傾斜地対策の要望書は何集落から出ているのか。



▲図書館入口に目安箱設置をしてほしい

町長 治自会長や団体から年間約130件出ている。現地を確認し町管理

の施設は対応方法や実施時期を要望者に知らせている。県管理の河川や道路、高速道路等は要望書を添えて関係機関へ送付している。

町長 林火災が発生し、日本では雨が降り続くことで、全国で河川の堤防が切れ家屋が浸水している。佐用町でも12年前に20人の尊い命が亡くなり、家屋が浸水し住民を苦しめた。

役場として温暖化にどんな対策をしているのか。

町長 2030年には、温室効果ガス排出量40%削減を目指している。

問 各戸の屋根に太陽光発電を設置し、自家の電気をまかなうのに町が補助すればどうか。

町長 学校では、通学途中の集落の方に見守りを呼び掛けたり、教師が定期的に指導したりしてい

問 地球温暖化について

町長 申山と秀谷で大規模な太陽光発電を行い、公共施設では省エネ化のため、断熱ガラスの採用や、

町長 家屋によっては、

おかもと よしつぐ
岡本 義次 議員



▲元気に登校する児童たち



観光施策の推進はどうすべきか

町長—官民連携で調査研究に取り組む



こばやし ひろかず
小林 裕和 議員

問 応願であった利神城址が国の文化財指定を受け、平福の町並みと共に、佐用町の観光拠点施設として光が当たってきた空感を感じる。この空気感をチャンスとじうえて、観光業としての施策に抜けていく機会が訪れた。

その一つとして、観光庁の「地域の観光資源の磨き上げを通じた、域内連携実証事業への取り組み」や専門職である観光事業者・民間・関係機関連携実証事業への取り組み等を有効に活用しての業態が成立するか」「現状の資源をどうのよう

町長 宿場町平福では、平成27年6月に古民家を改修してお休み処「瓜生原」がオープン、平成29年10月には利神城跡が国指定文化財に指定されるなど、明るい動きもある。利神城跡は現在、石垣や法面の修復工事を行なっており、さらに8月には、官民が連携して新たな観光拠点施設である旧

木村邸と酒蔵を改修して、宿泊施設やレストランがオープン。県に於いても西播磨山城復活プロジェクトを立ち上げられた。町としてもこの機会に観光の中心となるようさらに取り組んでいく。



▲ 利神城址と平福



▲ 宿場町平福の町並み

議員ご指摘のことは、これからますます重要なになつていふ。事業の展開にあたっては、地元民間事業者との協働を前提に、専門分野の各種補助メニュー等を有効に活用し、本町の資源を活かした需要ニーズに応じた観光事業を展開していくことでも方法として念頭に置き、調査研究などに取り組んでいく。

過疎地域持続的発展計画は修正すべき

ひろかが か ずし
廣利 一志 議員

町長——必要に応じて変更する

問 全体的にあまりに漠然として、具体的でない。計画である以上、目標、期間などを明示すべきだ。

町長 有利な過疎債で、事業をその都度具体化すればいい。

問 自治会、地域づくり協議会の活動を維持・継続するために、関係人口の増加をいかに図り、交流人口、定住人口の増加につなげるのか。

町長 県版地域おこし協力隊員の任命で関係人口増大に努め、若者コミュニティの造成を図っている。

町長 現在取り組んでいくことを効果的に、効率化することを

る資源の活用で交流人口の増大につながることを期待している。

問 再生可能エネルギーの利用の推進で住民への啓発は太陽光発電に限られてしまつていなか。



▲急斜面の太陽光パネル



▲ SDGs 17 の持続的開発目標

町長 太陽光発電のパネル設置が急傾斜地などに設置されれるなど無計画ではないか。

町長 地域特性に合った形として太陽光発電となっている。県の条例、

町長 森林法、農地法などにより適正に届け出されていなかった。SDGsについてSDGsについて

町長 は、國の方針、県の指針になく記載しなかつた。



果樹・野菜で農業振興を

町長—「農の匠・養成塾」を開設



かなたに えいし
金谷 英志 議員

問 町の農業振興の中核である『元気工房さよう』の地域商社としての組織・体制づくりは図られたか。この組織のリーダー育成はできているか。

町長 組織の在り方について、基本構想策定の中でコンサルに委託して、体制強化や生産部門の統合など総合的に協議している。

問 県の「ひょうご農林水産ビジョン2030」では、具体的な課題として「野菜など園芸作物の生産拡大を図ることが必要」とあるがこれにどう取り組むのか。

町長 町では「農の匠・養成塾」を開設して、果



▲ 地域商社の役割が期待される『元気工房さよう』

問 「ヒジヨン」では、「将来の担い手である新規就農者のさらなる育成が必要」とも述べている。就農者育成はどう図るのか。

町長 「農の匠」の受講者は20歳代から70歳代まで幅広く参加していただきたい。

問 3年後にはすべての方が出荷者に登録され、卒業後は指導者となられることを期待している。

町長 給食年間計画に基づいて、品目や出荷量、出荷時期など調整を行い、年間を通じて可能な限り地元産野菜の使用に努めています。

問 「ヒジヨン」では、「鹿肉処理加工施設の整備を

のでなければならない。

学校給食への安全な地

元産食材の拡大はどう図つていくのか。

本町では捕獲鹿の有効活用を図る」をしている。

挙げ、ジビエ、皮革製品やペットフードに有効活用を図る」としている。

づいて、品目や出荷量、出荷時期など調整を行い、年間を通じて可能な限り地元産野菜の使用に努めています。

肉処理加工施設の整備を

活性化を図るのか。

町長 食肉としての需要が少なく、皮やペットフードに利用するには、処理加工技術等が必要で、

町長 本町では進んでいないのが現状。有効活用に向け、引き続き検討していく。



▲『農の匠』での果樹講習

コロナ感染源対策に検査拡充を

町長――国に要望する

問 4回目の緊急事態宣言が9月末まで発せられている。第5波の特徴は、若者への感染が拡大していること。また、政府の「原則自宅療養」の方針によって、治療が受けられずに新生児の死亡や自宅で母親がなくなるなどのケースも出ている。政府に方針撤回を求めるべきではないか。

町長 町内の感染者は、直近で82人。龍野健康福祉事務所は、10代の無症状感染者は自宅療養とし、「酸素飽和度測定器」



▲自宅療養者に貸し出される
「酸素飽和度測定器」

町長 人94%。
12歳か
65歳以上
は、6,346
で2回接種済み

を貸し出している。国に對しては、全国知事会を通して要望する。

問 感染伝播を断つためのPCR検査は「いつでも誰でも、何度も、何度でも」の立場で、事業所・学校・保育園・学童保育などに拡充を求める。町のPCR検査制度の活用状況はどうか。

町長 PCR検査制度の申請は1件。

問 ワクチン接種について、周辺自治体では予約が困難と聞くが町の状況はどうか。



▲南光保育園玄関に置かれた手指消毒液

町長 保育園、小・中学校の感染防止対策と行事等の対応はどうか。

町長 保育室清浄機を設置している。宣言の中、運動会は平日の

ら64歳までの接種は、10月3日で83%が接種を終了する。10月1日ワクチンの入荷が確定したので予約受付を再開し、

2病院で接種する。妊婦は31人対象で13人が接種。配偶者は25人が接種している。

問 保育園、小・中学校の感染防止対策と行事等の対応はどうか。

町長 町商工会で被害調査を実施、あらゆる業種で売り上げが減少している。資金繰りは、セーフネット危機管理補償制度で、町が認定する。昨年は206件の申請、今年度は12件の申請がある。

ひらおか
平岡 きぬゑ 議員



▲パーテーションが設置された4人掛けのテーブルで遊ぶ南光保育園児

佐用まなび舎農園・経営改善は

町長—今後、更なる改善を図る



ちくさ かずひで
千種 和英 議員

問 経営改善3ヵ年、初年度を終え、収穫量・売上高・経常利益（損益）は。栽培の原点回帰による品質や収穫量の変化は。

町長 農園の現在の収支状況は太陽光発電事業収入で補完している。収穫量は34・2t。売上高が2,675万3千円、低段密植栽培の原点に立ち返り、収穫量は減少したが売上高は前年比300万円増加。経常損益は、簡易キャッシュフローベースで2,460万円の赤字であるが、前年に比べると840万円の収支改善となっている。

問 萝蔔（A級品）とその他ブランドで販売して

課長 主に百貨店向けの「夢茜」が約10%、主にスーパー向けの「舞茜」が約23%、特産品販売店等での委託販売の「とまんトマト」が約58%、加工用が約10%。



▲ 生産・販売の両面で経営改善中

問 将来的に経営は大丈夫か。
課長 生産量も当初計画から大きくなり、販路や販売方法等のバランスも考えている。

問 どちらも課題があるのか。
課長 生産、販売の適正管理、労務費用の適正管理、省力化等に取組んでいる。

課長 昨年度は2回の研修実習事業やアルバイトを受け入れている。

問 県立佐用高校の地域協働による魅力化に取り組めないか。

町長 各課において、多種多様な場面で佐用高校と連携を行っている。農業学科や家政科との連携。また、今年度からは起業セミナーで連携している。

問 県立佐用高校の地域協働による魅力化に取り組めないか。

町長 各課において、多種多様な場面で佐用高校と連携を行っている。農業学科や家政科との連携。また、今年度からは起業セミナーで連携している。

教育長 学びたいことが学べるよう学区が広がり選択の幅が広がった。

問 県教委が主体となり、佐用町・経済団体・農業経営者・住民、そして卒業生がコソソーシアム（協働体制）で魅力化に取り組めないか。

町長 県下の市町で連携し、県への実情を訴え、県教委の考え方を質している。町主導での魅力化の取り組みは難しいと思

問 町内中学からの進学が、令和2年度50%、3年度40%、その要因は。

町長 町内中学からの進学が、令和2年度50%、3年度40%、その要因は。



▲ 町内からの進学が激減している県立佐用高等学校

議会の動き

GIGAスクール構想と小・中連携教育の調査研究

総務常任委員会 委員長 加古原 瑞樹

8月10日、GIGAスクール構想と小中連携教育の調査研究で上月小学校、三日月中学校を訪問しました。委員会は、現地調査の前に、教育委員会からGIGAスクール構想の説明などを受け質疑を行い、委員からの疑問に対する回答を聞き取りました。

上月小学校

上月小学校では実際にタブレットを使用し、子ども一人ひとりに応じた指導をしているとの説明を受け、現在タブレットの持ち帰りをしていない状況については、学習効果を研究し保護者の協力などルール化も必要だとの考えが示されました。

タブレットを勉強だけでなく、体育の授業では逆上がりの動画を児童同士が撮影し、互いに比べる中で違いに気づき、逆上がりが出来るようになった事例など、コロナにより制限されることを補うだけでなく、今まで得る



ことが出来なかつ
効果を生み出すこ
とが出来ると感じ
ました。

◀ タブレット体験

三日月中学校

新型コロナウイルスにより小中連携教育の取組にも制限が掛かる中、タブレットを活用しオンラインでの授業参観や先生方の研修も行われていました。

先生方の研修は定期的にやっているのかとの問い合わせに、全員研修会のようなものを立ち上げている。また各校の代表によるGIGAスクール、ITC活用情報交換会でお互いに情報を交換して、均一化を図っているとの説明を受けました。



◀ タブレットの
保管庫

産業厚生常任委員会

委員長 廣利 一志

佐用町公の施設等における事業の状況を調査するため7月27日、Tenon合同会社(三日月木工加工施設)、赤竹工房(旧江川保育園)、ムシの恵み社(旧石井保育園)の、町内3事業所を視察しました。



▲ 三日月木工加工施設

代表の迎山直樹氏は、すぐ腕のイス職人で月に30~40脚の注文を受けておられます。代表作の一つ「STチエア」は、グッドデザイン賞に選ばれ、「国際家具デザインコンペティション」でも最優秀賞を受賞されました。今後は、地元産の材を使ってのイス作りに、スタッフ3人と課題である製材と乾燥に格闘しながら、佐用町産のストーリーを描きつつ商品化を目指されています。

三日月木工加工施設
Tenon合同会社

赤竹工房



▲ 旧江川保育園

代表の竹本良平氏は2016年から旧江川保育園に工房「赤竹工房（せきたけこうぼう）」を構えて、牛革、シカの革を利用してジャケット、小物などを作り、首都圏のデパートなどに納品されていました。

今後は、佐用オリジナルの、地元のシカの革を使った軽いパーカーやシングルライダースを作ることを考えています。



▲ 旧石井保育園

代表取締役で神戸大学名誉教授の竹田真木生氏から施設の概要、コオロギの飼育について説明をして頂きました。人口増加に伴って、世界で注目される昆虫食で、タンパク質や栄養豊富、生産の面からも地域おこしの面からも佐用町に貢献できるとの話を伺いました。

「こおろぎカレーマッサマン風」として商品化され、販売も開始されて好評を得ています。

ムシの恵み社

組合議会報告

播磨高原広域事務組合定例議会

令和3年8月27日開催

- ・組合議会 議長の選任
永富 靖 氏 (たつの市議会議長)
- ・組合監査委員の選任
岸田 信之 氏 (たつの市)
木村 公男 氏 (上郡町)
- ・令和2年度 組合一般会計・上水道事業会計・下水道事業会計歳入歳出決算認定
(上程議案すべて可決・承認)

組合議員 小林裕和

にしほりま環境事務組合定例会

令和3年8月24日開催

- ・組合議会 副議長の選任
飯田 吉則 氏 (宍粟市議会議長)
- ・公平委員の選任同意
溝端 雅孝 氏 (西徳久・佐用町公平委員会委員長)
ほか2名
- ・令和2年度 組合会計決算 認定
- ・令和3年度 組合補正予算 (2件)
損害額2億2,675万円は、火災保険(共済金)から充当
- ・1月に発生した火災の復旧業務委託契約
日立造船(株)
(上程議案はすべて可決・承認)

組合議員 石堂基

一般質問の録画・インターネット放送

佐用チャンネル12月議会の一般質問の模様は1月に2回に分けて録画放映します。

インターネット パソコンでいつでもご覧いただけます。

佐用町の公式ホームページから、佐用町議会をクリックして頂き、**一般質問の録画映像**をクリックして頂いてご覧ください。

9月の一般質問は10月に放映しました。

12月定例会の予定											
12月	30	(火)	本会議(議案上程)								
3(金)	総務常任委員会										
6(月)	産業厚生常任委員会										
8(水)	一般質問										
9(木)	一般質問										
10(金)	一般質問										
13(月)	本会議(質疑)										
17(金)	本会議(討論・採決)										

また近年は、国指定史跡、利神城跡を望むスポットも人気です。この日、宿泊していた友人たちを案内して訪れた高橋康江さん(福吉)は、佐用町へ移住して以来、大好きで自慢の景色のひとつです。今朝も御来光から大きなエネルギーをもらいましたとおっしゃっていました。町民の皆さんも、早起きをして、見学されたいかがですか。

この季節になると田内外からの多くのみなさんが、早朝から訪れます。この場所も地元写真愛好家の皆さんのお手により整備されています。

写真・文 千種和英

兵庫県町議会議長会
自治功労者表彰(議員歴15年以上)
並びに兵庫県功労者表彰を受彰



石堂基議長は、長年の議員活動に対して、自治功労者表彰を受賞されました。

また、兵庫県功労者表彰を自治功労部門で受賞されました。

表紙写真によせて



早朝から多くの人にぎわう展望所

編集後記



実の秋、新米がおいしく季節になりました。しかし、口ロナ禍で外食向けの口メの需要が増え込み、米の価格が暴落。国は在庫米を買い上げ、コロナ危機で生活に困窮する人々への支援に回すなどの対策が求められます。日本の食料自給率は過去最低の37%。安心して口メの口づけが、食料自給率も高めねじらが必職だと思します。

新型コロナウィルス対策で4回目の緊急事態宣言が9月末で解除されたが、第6波への備えが今後も大事だと思います。平岡もねく

議会広報特別委員会 委員長 小林 裕和 副委員長 金澤 孝良 委員 加古原瑞樹 千種 和英 委員 団本 安夫 委員 平岡 かずゆき